

- ◆ 官民投資ロードマップや科技イノベ基本計画に基づく成長戦略や研究開発と一体化した国際標準化
- ◆ 行政による率先垂範としての公共調達における規格活用や規制・ルールにおける標準・認証の活用促進
- ◆ 日本全体の国際標準活動把握のための新たな主要KPIの設定

現状と課題

- 2025年に策定した「新たな国際標準戦略」に基づき、国内外の国際標準化動向のモニタリングや、各省庁の取組・戦略／重要領域における取組のフォローアップを行った。
- その結果、産学官金の取組強化や標準エコシステムの強化といった各省庁の具体的な取組でそれぞれ進展が見られ（国研における国際標準活動の人事評価の拡大や官民ハイレベルフォーラムの設置など）、また特に戦略領域において国際標準化の取組の進捗が認められた（防災リスクファイナンス規格の策定、量子の国際標準化戦略・ロードマップ策定等）。一方で、前者は各省庁の取組に留まり、省庁間・領域間の連携が弱く、また、後者は重要領域においては取組が十分に進捗していないものも見られた。
- 国際的には、AIやデジタル化の進展によって規制・標準・認証の在り方そのものが問われる状況。
- さらに、従前の取組ごとのKPIでは、我が国全体の国際標準活動を把握するには不十分であることから、今後、「①ISO/IECにおける幹事国引受数（上位5位以内を維持（2030年度）」「②重要・戦略領域及び戦略17分野において日本が主導して提案した国際標準・ルール及び国際標準・ルールとして策定された数（※）」を新たに主要KPIとして設定する。

（※）我が国の強み等も勘案しながら我が国に有利な国際標準・ルール形成を戦略的に主導することが肝要であり、提案数や策定数の多寡のみで評価するものではないことに留意。

施策分類	施策小分類	施策件数	進捗評価			
			◎	○	△	×
(1) 産学官金の取組の強化	① 経済界・学術界・金融界への働きかけを行う。	8件	-	7件	1件	-
	② 企業・研究機関・政府の視座をシフトする。	11件	-	9件	2件	-
	③ 公共調達・補助金において標準を活用する。	2件	-	2件	-	-
	④ 研究開発段階から標準化を組み込む。	11件	-	11件	-	-
	⑤ 政府支援の実効性を高める。	3件	-	1件	2件	-
(2) 標準エコシステムの強化	① 人材育成システムを強化する。	11件	-	8件	3件	-
	② 専門機関を育成・強化し、その活用を拡大する。	7件	-	5件	2件	-
	③ 規制・規格・認証を一体的に推進する。	2件	-	-	1件	1件
(3) 標準戦略の明確化とガバナンス	① 司令塔機能を果たす官民連携の場を設ける。	14件	-	14件	-	-
	② 知見やノウハウ、人材情報等を共有・マッチングする仕組みを構築する。	4件	-	3件	1件	-
	③ 省庁間、国地方間の連携を強化する。	1件	-	1件	-	-
(4) 国際連携の強化	① 国際的な標準化人材育成やネットワークに取組む。	3件	-	1件	1件	1件
	② 国際相互承認制度の利用、規制の調和、規格の普及等を促進する。	16件	1件	13件	1件	1件
	③ ASEAN各国等との連携を強化する。	13件	-	10件	2件	1件
	④ 国際標準の国際会議を日本で開催する。	3件	-	2件	1件	-

各省の具体的な取組の進捗状況

今後の予定（方向性）

- 日本成長戦略や第七期科学技術・イノベーション基本計画と連携し、研究開発、知財、標準、事業戦略の一体化を図る。この際、官民投資ロードマップに国際標準化をビルドインし、標準化活動を推進する。
- 産業界・アカデミアにおける適切な人事評価等を通じた人材育成、標準化におけるAIやデジタル技術の活用、専門サービスの育成、公共調達における規格活用、法制度や自主ルールにおける標準・認証の活用に向けたガイドライン作成等を進める。
- 主要ポストの獲得に向けた方法論やKPIの確立、海外との研究開発協力等を通じた国際標準化の推進。
- モデルの提示等を通じて、領域ごとの国際標準化に向けた官民の連携体制の構築や国際標準戦略の策定推進。特に戦略17分野に盛り込まれた61の技術・製品等を含めた具体的な国際標準化の推進。
- システム全体・複数システムを統合した領域横断的なルール・標準化の検討、KGIの検討、防衛産業やコンテンツ産業を含めたより効率的・効果的なモニタリング・フォローアップの実施。